㊗創刊!!これならママもOKさ!!

シーズウェアFC

創刊準備号　VOL.0

やさまた　しやみ
インタビュー!!

THE　4コマ劇場

THE 対談!!
これからのシーズ!!

"グロリア"原画
㊙大公開!!

0号

1996 JANUARY

もくじ

シーズウェアファンクラブ

ご挨拶

ワーイワーイ！とうとうシーズウェアファンクラブの設立だぁ！禁断の血族をリリースしてからあっという間に丸2年が経ってしまいました。 時が経つのはなんて早いのかしらぁ！（しまったオカマ口調になってる！） はっきり言って、始めこの企画を考えたときはちゃんと会員が集まるのかどうか心配でしたよ…でも「やるしかないわょ！！」で決めてしまいました。（あ、またオカマ口調…） これを読まれてる会員の皆様、あなた方は偉い！不安に震える乙女の様なシーズのメンバーをこんなにホットな心にしてくれるあなた方…。名誉ある（？）シーズウェアのファンクラブ会員として迎え入れましょう！これからシーズウェアファンクラブをよろしくお願いいたしますねぇ！（けして私はオカマではない。）

俺はこの日を待っていたぞ！とうとうこの日がやってきた！俺様のファンクラブが出来るなんて、苦労のかいがあったよ。 俺はこの日のために厳しいダンスのレッスンや発声練習、毎日パックをしてアパタイトで歯を白くして、鏡の前で笑顔のレッスン。人前で鼻くそをほらないように気をつけたり…それは厳しい毎日だった。しかし！俺はその厳しい日々を乗り越えてファンクラブを持つようなアイドルになることが出来たのだ！次の目標は打倒「S・M・A・P」だ！……え？俺のファンクラブじゃない？そ、そんなぁ…聞いてないよぉ！マ、マネージャー！おい！マネージャ〜〜〜〜〜！……………………………てな夢を見ました。

この会報が会員の皆様と我々、それと会員同士のふれあいの場となればよいかと思っております。よって、皆様のお手紙やイラストをより多く掲載してゆこうと思っておりますので、どんどん書いてシーズウェアに送りましょう！ この号は準備号なので、コーナーは暫定的に決めたもので、皆様のご要望により、新コーナーや新たな企画をどんどん取り入れていきますのでよろしくお願いしますね。 なるべく多くの声を反映して面白い会報とファンクラブにして行きますので応援もよろしく。 とりあえず創刊準備号の会報ということで皆様のからお手紙やイラストを募集します。

シーズ対談コーナー　これまでのシーズ、

野口　『みなさん、こんにちは。ファンクラブ入会ありがとうございます。申し遅れました、２人の子持ちおやじ、ダヲス野口です。』
宮下　『うぃーーす！まだまだ子供なんていらない、宮下っす。』
高岡　『はぅーーっ！ど、どうも。早く結婚したい“腹出し男”高岡です。』
野口　『と言うわけで、記念すべき第一回目の対談の議題は“これまでのシーズ、そしてこれからのシーズ”です。』
宮下　『全くもぉ、前置きが長いんだから。　まずは、この俺様がほとんどのＣＧをエディットした禁断の血族から紹介だ！！』
野口　『この作品は言わずと知れた、シーズウェアの代表作であり、大ヒット作でもある。』
高岡　『最近、Ｗｉｎｄｏｗｓ95専用の禁断の血族（壁紙付き）も発売され、いまだに売れまくっております。』
宮下　『もう発売してから、2年以上もたつんだなあ。淫靡ブームの火付け役だね。』
野口　『次の悦楽の学園も、禁断の血族に勝るとも劣らない、過激で淫靡なソフトに仕上がったね。』
高岡　『この２作のヒットで、シーズウェア＝過激で淫靡なゲームソフト会社という図式がよく、謳われましたね。』
野口　『でも、たまには１８禁でなく、お洒落でかっこいーのも作りたいね。』
宮下　『俺も、俺も！！』
高岡　『3作目のＤＥＳＩＲＥはアイデア勝利のマルチサイト・システム！Ｈシーンをはずせば立派な一般ゲームでした。』
野口　『過激なＨシーンを期待して買ったユーザーさんでさえ、Ｈをなくして一般にしてほしかった。なんて声も届いた作品です。』
宮下　『あの作品は後半詰まり、１人１日３枚ＣＧエディットという地獄を味わった作品でもある。』
野口　『うーん、確かに辛かった。完成後、ほっとして40度近く熱を出した思い出がある』
高岡　『はぅーーっ。はぅーーーっ。』
宮下　『もう絶対にできねーよ。あんなことは！』
野口　『でもその次のＸＥＮＯＮは色々楽しめたし、まあ楽なほうだったね。』
高岡　『はぅーーっ。はぅーーーっ。』
宮下　『2人の原画に2つの世界、塗り方もそれぞれ変えて、ちなみに俺は現代側のＣＧ作監さ。』
野口　『あと、いままでシーズの作品にはなかったアニメも導入した作品でもある。』
高岡　『でも、ＤＥＳＩＲＥあたりから、一般ゲームを意識した作りになり、絶賛の声とＨ度を強くした作りを求める声で割れましたね。』
野口　『その辺もあって、シーズはこんなゲームも作れるんだと、“エイミーと呼ばないでっ”を考えました。』
高岡　『原点に帰ってＨ度を強く、と言う事でしたが、ギャグのせいで淫靡さが少し薄れましたね。でもそこがいい、悪いと、賛否両論でしたね。』
宮下　『はぅーーーっ。はぅーーーっ。』
高岡　『宮下さん、僕のまねをしないで下さい。照れますョ。　はぅーーーっ。』
野口　『そして、いよいよ作品のラインナップも増え、パート２もんをやろうと言うことが、ヒントになり、“悦楽の学園2と呼ばないでっ”もといい、“ＥＶＥ　ｂｕｒｓｔ　ｅｒｒｏｒ”が誕生しました。』
高岡　『ＤＥＳＩＲＥより複雑なマルチサイト、超大作と呼ぶにふさわしいグラフィック枚数と文章量、絵コンテも大変でした。』
宮下　『はぅーーーーーーっ。』
高岡　『んもう、宮下さん、まねしないでよォ。』
宮下　『そしてこれからのシーズ！！春には禁断の血族２（グロリア）が予定されてるんだ。みんな、期待して待っててくれぃ！』
野口　『システムも一新して、ただのパート２じゃないぞって感じです。原画マンも前作同様、やさまた画伯を予定しています。』

…..そして、これからのシーズ!!

高岡 『売れるといいですねェ。 皆さん、買って下さい。お願い、買って～ェ。はぅーーっ。』
野口 『バカ売れしたら、社員全員で海外旅行に行こう！』
宮下 『うーん、俺は個人的には今、生活用品が欲しいな。冷蔵庫とか洗濯機、引っ越ししたばかりで、色々モノが不足してるのよ。』
高岡 『僕はイギリスのバンド、ＤＥＡＤ ＯＲ ＡＬＩＶＥの大ファンなので、幻の12インチを全部手に入れたいです。』
野口 『俺は今、ナビが欲しいなぁ。・・・なんて、個人的希望を満たす為には、小室哲哉にでも、プロデュースしてもらわないと・・・。』
宮下 『プロデュースとまでいかなくても、かっこよく演出して、ポイントになる所の曲を作ってもらうってーのは？』
高岡 『僕はピート様（ＤＥＡＤ ＯＲ ＡＬＩＶＥ）に作ってもらいたいです。』
宮下 『じろっ！』
高岡 『す、すみません・・・。』
野口 『言いだしっぺが言うのもなんだけど、曲だけでゲームを売るのは難しいと思う。大体、曲にそんな金かけられないよ。』
高岡 『確かにそうですけど、ＣＤ版で有名声優をつかうと、それだけでも売れますよね。』
野口 『でも、Ｈゲームだと声優さん、名前出すの嫌がるから。』
高岡 『シーズのＣＤ版のゲームの声優さんの名前が出せないのが惜しいですね。はぅーーっ。』
宮下 『やはり、演出家の俺様がかっこよく演出して、シーズからミリオンセラーを出すか！』
高岡 『宮下さん、いつから演出家になったんですか？』
宮下 『うるさい！黙れ！』
高岡 『はぅーーっ。 ご、ごめんなさい。』
野口 『夢のような話はこれで終わりとして、今後作りたいゲームってある？』
宮下 『ジャンルには特にこだわらないけど、時間に余裕があれば超のつく大作がつくりたい！』
高岡 『僕はマップやチップを作りたいのでＲＰＧがやりたいです。』
野口 『最新作“ＥＶＥ”を越える大作を作るのはしんどそうだし、ＲＰＧもデバッグが大変そうだし・・・・・・・・・・・・。』
宮下 『お父さんはもう、隠居したら？』
野口 『いや、俺はまだ現役で頑張るぞ！アキレス腱が切れるまで！！』
宮下 『つまんない！』
野口 『じゃ、燃えかすなんか残らない、真っ白な灰になるまで頑張る・・・というのは？』
高岡 『またですか、それ。』
宮下 『パターンだな。』
高岡 『また“自分”を題材にしたゲーム作ってくださいョ、（おまけゲームで）野口さん。』
野口 『例のゲームのパート２？』
宮下 『“高岡佳史の私生活暴露ゲーム2”かぃ？』
野口 『でもこないだメガストアのＣＤ－ＲＯＭで実写版が収録されてたじゃん。憧れのＦさんとの共演で。』
高岡 『はぅーーーーーっ。あの時は緊張しまくりだったかもしれない・・・・・。ポッ。』
宮下 『反響が殆どなかったじゃん、そんな話、誰も知らないよ。作っても喜ばないし。』
高岡 『はぅーーーっ。そうかもしれない。でも見た人は感想聞かせてね。(是非ファンクラブ宛に)』
野口 『議題から大きくずれたけど、ご意見＆ご感想、ファンクラブ宛にドンドン送って下さい。』
宮下 『たのむぜ、アァ、オィ、エェ？』
高岡 『お願い、はぅーーーーーーーーーーーっ。』

大反響!!これが“グロリア”の原画だァッ!!
たたみ

やさまた画伯インタビュー！

ーやさまたさん、まずはお帰りなさい。

やさまた（以下、や）『は、はい。これからも宜しくお願いします。』

ーしばらくシーズウェアから離れていましたが今回を機に、またシーズウェアでしばらく原画をお描きになると、お聞きしましたが・・・・・。

や『はい。そのつもりです。シーズさんは環境もいいし、いい人ばかりなので非常にやりやすいです。』

ーそう言って頂けると光栄です。シーズ復帰として、ゲームではないんですけど、小説の表紙や差し絵に随分、力をお入れになってくださったみたいですね。

や『はい。特に“悦楽の学園”の方はキャラクターの設定からやり直し、小説の為の新キャラも起こしました。』

ーあれはストーリー自体も、ゲームとは大分違ってたりして、いろんな意味で楽しめる一冊ですね。

や『えぇ。私も非常に気に入ってます。まだ知らない方は本屋さんで是非、お手にとってご覧下さい。(買ってね)』

ーところで、パソコンゲームでの復帰第1弾“グロリア”についてなんですけど、早くも反響が凄いですね。

や『えぇ。色々と喋りたい事があるんですけど、シナリオの方に怒られちゃうんで、まだあまり言えません。絵に関して言えば、もちろん小説以上に力を入れて、Hな絵（笑）を頑張って描いていますので、皆さん期待して発売日を待っててくださいね。』

ーお忙しい処、ありがとうございました。

スタッフ言いたい放題!!

★はぅーーーっ。事務のＦさんがステキすぎるぅ！あぁ、Ｆさんの事を考えると、性腺刺激ホルモンが海綿体を充血させ、カウパー腺液が俺のジーンズを・・・。はぅーーーっ、起って立てない！！　【夜も眠れないスタッフ】

★ねぇー、ちょっと聞いてよ、私の彼、漫画家なのぉ。たまに遊びに行けば、“会いたかったよ、よく来てくれた。ま、トーンでも貼っていけや”と、強引に部屋に引っ張るの。　お前が一番だって。　いいでしょー。　【無料アシなスタッフ】

★こないだ遂にシャープス・ライフル（スペイン製モデルガン）を買った！俺のビックマグナムもこの銃のように華々しく弾丸を放てたら愛しいあの子のハートを射止める事ができたのに・・・・・。　【早漏なスタッフ】

★俺は毎朝、愛車ＭＲ―２、ＧＴターボＴバールーフ、エンジン３Ｓ―ＧＴＥ、最高出力245ｐｓで出勤さ。　車があんまりいいもんだからって、ひがまないでくれよ、Ｂａｂｙ！！　【給料が車なスタッフ】

★水泳をやっても、マラソンをしても落ちなかった体重がへんとう腺の手術をしたら、その後１０Ｋｇも落ちた。調子に乗ってベルトを何本もザクザク切ったら、また少し太りだした。バンタム級がまた遠のくぜ・・・。　【真っ白なスタッフ】

★一週間、カップラーメンで過ごして貯めたお金で２，５００円のガン○ムを買ったっす！う～ん、なんて出来がいいんだろう・・・。この胸から腰にかけてのライン、首筋といい、足首といい、・・・・・ハッ！！　【メカフェチなスタッフ】

★引っ越しをした。　お金がかかった。　大変だった。　【色々と大変なスタッフ】

NOGuchi '95.12.5

THE４コマ劇場

What do you want?

とりあえず冷蔵庫かナ?
だから理由は聞くなっつーの!!
さっ

そりゃ、旦那、もちろん銃でっせ。
撃ちテェ…
へへっ

2500円のガ○ダムシリーズのグ○やド○が欲しいっす。
出たらサイコーっす!

浅○大介に似た童貞の美少年の○×○!!
ぐちゃぐちゃにしてやるゥ~~!
おーっほっほっ
ほっ!

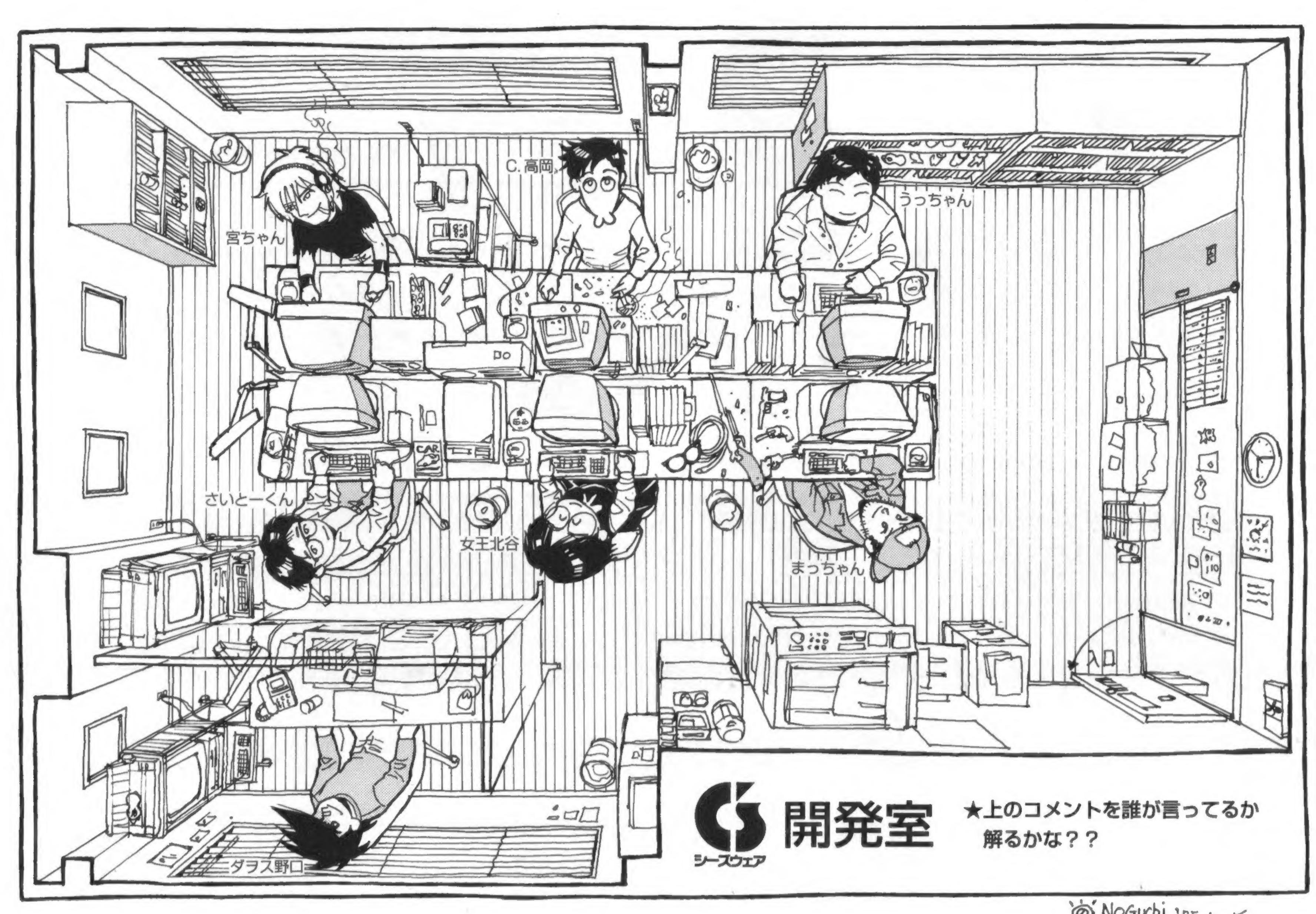
復活!!やさまたしやみ!!

大変だ!
大変だァッ!
タッ
タッタッ

どうした?キノ松?
バカ

し、しゃみさんが・・・帰って来たんだヨォ・・・
アニィ!

お元気でした?皆さん。お久しぶり。1年ぶりかな?

NOGUCHI '95.12.13

㊗ファンクラブ

★開発スタッフからの　メッセージ
うっちゃん＝薄　　　女王様＝北谷
まっちゃん＝松本　　斎藤くん

松本　『いやー、遂に誕生しましたね。ファンクラブが。』
薄　『ほんと嬉しいっす。これで、自分の活躍を全国のユーザーの皆さんに披露出来るかと思うと涙が出ちゃうっす。』
松本　『別にうっちゃんの為に作った訳じゃないよ。』
北谷　『そうよ、ファンクラブはこの私、女王北谷の為にあるのよ。おー、ほっほっほっ！』
薄　『女王様には、叶わないっす。』
松本　『まだこの号は準備号だからコーナーが少ないけど、これから増えるコーナーが楽しみ。』
斎藤　『車自慢のコーナーを設けましょう。』
松本　『そりゃ、斎藤くんをはじめ、いい車持ってる人はいいよ。俺なんて免許もないもん。やっぱ、銃について熱く語るコーナーを・・・。』
薄　『やっぱプラモっすョ。ガ○プラを熱く語りたいっす。』
北谷　『そんなコーナーじゃ、ユーザー様が納得しないわ。Hで淫靡なゲームが売りのシーズウェアよ。やっぱり、“女王様ぁ僕を滅茶苦茶にしてください。ｂｙ美少年”のコーナーでなくちゃだわ。おー、ほっほっほっ！！』
松本　『なんですか、それは？？　でも、個人的な希望を満たす為にスタッフ紹介のコーナーを毎号やりたいですね。』
斎藤　『賛成です。』
薄　『もちろん、さんせーっす。』
女王北谷　『宜しくてよ、その案は。もちろん、この私、女王北谷の特集号はオールカラーで２０ページはとってくれるんでしょうね。期待してるわ。おー、ほっほっほっ！』
松本　『う～ん・・・私には決定権がないので、出来るだけご期待に添えるようお願いしてみます。』
女王北谷　『良くってよ、良くってよ、まっちゃん。おー、ほっほっほっ！！』
松本　『先行き不安になってきましたが、ユーザーの皆様お便り宜しくお願いします。』

早くも登場!! イラストコーナー！

草加市／芥川　雷音之介さん

●早くもＦＣ宛にイラストを送ってくれたのは、やっぱり常連の芥川雷音之介さんです。資料もない、ゲームもまだ、何を描いたらいいか解らない。と、言うのが本人の弁ですけど、いや～なかなかどうして、素晴らしい仕上がりです。全体の雰囲気が見事に“茜”してます。　全然関係ないけど、茜の服ってオ○ム服に似てると思うのは私だけでしょうか？

荒川区／西　紀子さん

●まさか、エイミーのおまけゲーム“なんぱのジョン”からのイラストがくるとは。嬉しいです。ありがとうございます。それにペンネームも最高です。　のりちゃん、西と結婚しちゃったんだよなぁ。アニメ版では公団当たって、住んでるし・・・。マニアックですみません。

★次回予告＆お便り募集★

第１号は３月発行の予定です。

◎お便り・イラストの募集
　ファンクラブでは随時イラストやお手紙を募集しています。

　イラストを送る場合……イラストは葉書にモノクロで書いてください、カラーだときれいに印刷できない場合があります。どうしてもカラーがいい人はそれでもかまいませんが。イラストの内容は会員のオリジナルかシーズウェアのキャラクターに限らせていただきます。他社のゲームのイラストや版権に関わるものは掲載できません。葉書や封書の宛先にファンクラブイラスト係り宛てと明記してください。自分の会員番号を忘れずに書いてください。(日ごろイラストを描いている方で発表の場がない人、プロの目で評価してほしい人、どんどん送ってください！特典も考えております)

　お手紙を送る場合……ゲームの感想…官製はがきか封書で、あまり小さな字は印刷に出難いので、大きくはっきりと書いてください(ワープロだとベター！) シーズウェアファンクラブ宛てと明記してくだい。それと自分の会員番号を忘れずに書いてください！
(注) 手紙をそのまま掲載するので、個人情報などの公表されてはいけないものはかかないで下さい。

◎特別企画！創刊号につき企画募集！
　はっきり言って創刊号なので、皆様からのお葉書が一枚もないのは明白である！
あったらそれはヤラセだろう！（イラストは来たけど）
どんなコーナーを作ろうかな？次元の話なんだから…。（それでいいのか？）
だからみんなから募集するよ～！
どうせ皆のための会報なんだから、皆が見たい読みたいコーナーを作りましょう！
葉書に企画するコーナーのタイトルと、どんな内容かを書いて下さい！
採用された方には何か粗品程度のものを差し上げます！

宛先　　〒３３５埼玉県戸田市上戸田４－１３－１８-２Ｆ
シーズウェアファンクラブ　「イラストコーナー」宛て
「お手紙コーナー」宛て
「企画募集」宛て
　宛先を明記して送ってください。また、会員番号や名前・住所・郵便番号を忘れずに書いて下さいね！なにか送ってあげようとしても、何も書かれていないと送りようがありませんからね。それではお待ちしてますのでよろしくね！

GLORIA～禁断の血族～乞うご期待!!

〒335 埼玉県戸田市上戸田4-13-18-2F TEL048-431-7450